

EduNavi

Atsugi City Board of Education



3校合同

ISS認証式が行われました

清水小学校、妻田小学校及び睦合東中学校が、国際セーフスクール (ISS) の認証を取得し、認証式が2022年11月18日に行われました。ISSは、セーフコミュニティ認証センターが、より安全な教育環境づくりを目指す学校に与える国際認証です。

22年9月には、各校で現地審査が行われ、前回の認証取得後に掲げた目標に向けた取り組みの成果を発表。各校における課題に対して、児童・生徒、保護者、教職員、地域が一体となって取り組みを進めていることなどが高い評価を受け、再認証につながりました。これからも、「事故やけがは、偶然の結果ではなく、予防できる」というセーフコミュニティの理念に基づき、安心・安全な学校環境づくりに取り組みます。

妻田小学校

2018年に続き、今回で2回目の認証取得。学区内の清水小学校、睦合東中学校と、合同ミーティングを実施するなど、ISSへの興味・関心が高まっていたことから本格的に取り組みを開始。けが減少への取り組みなどを実施しています。

校内のけが減少への取り組み

校内の危険を把握するため、安全マップを作成したり、右側歩行を促すため、階段に足マークを付けたり、けがを減少させる取り組みを行っています。マップ作りでは、学校の危険なところを撮影し、どうしたら危険を回避できるかについてのコメントも記入し、掲示。マップを見て注意する児童が増えるなど成果が上がっています。



危険回避についてのコメントを記入



階段に足のマークを付ける

清水小学校

国内2番目、市町村立学校としては初の認証取得。2010年、13年、16年、19年に続き5回目の認証を取得しました。安全文化の定着を目指した取り組みなどを実施しています。

学校文化としてISSを定着させる取り組み

コロナ禍で分断された活動を再び軌道に乗せ、ISSの取り組みを学校文化とするため、月1回の児童集会において、高学年児童が課題やその対策に向けたアイデアを全校児童へ提案しています。また、けが防止対策として廊下を走らないよう呼び掛ける、取り組み結果のデータを使って現状を把握しやすくするなど、行動の変容を促しています。



全校児童に向けて改善策を提案



集会で共有した取り組みを実践

睦合東中学校

学区内にある清水小学校の卒業生の多くが睦合東中学校に入学。「中学校でもISSの活動に取り組みたい」「活動を発展させたい」など、生徒の希望によりISSの取り組みを開始。2015年、18年に続き3回目の認証取得。

「いじめゼロの木」の取り組み

いじめゼロの木の作成は、日頃の温かい行いや小さな親切が見えるようにすることで、良いところを認め合い、いじめや暴力を減らす意識を高める取り組み。「けがをしている友達の荷物を持ってあげた」「授業中に、シャーペンを貸してあげた」「元気にあいさつした」など、行った内容をカードに記入。クラスごとに木に貼り、学年で1本の木を完成させます。



温かい気持ちが集まった木を作成



花の形は、仲間を笑顔にしたとき、リンゴは困った人を助けた・助けられたとき、など内容により異なるカードに記入

妻田小学校 6年 児童会長 **福住 望さん**



全校児童でもっとISSのことを理解し、安心・安全な学校生活を送りたいです。そして、ISS活動に楽しく取り組み、妻田小学校の伝統にしていきたいです。

清水小学校 6年 児童会長 **濱岡 蓮夏さん**



これからもみんなで協力していくことが大切だと思います。「みんなでつくる」ということを大切にしながら活動していきたいです。

睦合東中学校 3年 生徒会長 **澤田 真奈美さん**



私たちは「チーム睦東でISS！」を合言葉に、認証ありきではなく、普段から安心・安全な学校づくりに取り組んでいます。いじめゼロの木運動では、小さな優しさや笑顔を形にしてみんなで大きな木を完成させました。

— 将来にわたって子どもたちが充実した教育環境で学ぶために —

小・中学校の **適正規模** **適正配置** の取り組み Vol.2

2022年10月から11月にかけて、学校規模適正化の検討対象となる小・中学校11校で説明会を開催しました。説明会には、児童・生徒の保護者や地域の方々など536人が参加。さまざまな質問や意見が寄せられました。説明会での意見などを踏まえ、各地域や学校の実情に合った学校規模適正化の方策を検討していきます。

説明会開催校 ※五十音順

- 小学校 ▶ 愛甲小学校、飯山小学校、荻野小学校、上荻野小学校、小結小学校、玉川小学校、高尾小学校、毛利台小学校、森の里小学校
- 中学校 ▶ 玉川中学校、森の里中学校



参加者からの質問・意見(抜粋)

- ・地域と小・中学校のつながりを大事にしている地区の特色を生かし、少人数でも学校を維持できるような方策を希望する。
- ・地域内で学校の統廃合を実施する場合、通学距離が長くなるので、通学の安全性に十分に配慮しながら検討してほしい。
- ・通学区域の変更や統廃合を実施することになった場合、どれぐらいのスケジュールを見込んでいるのか。



詳しくは [厚木市 適正規模・適正配置](#) 検索

教職員の働き方改革のための取り組み

「厚木市立小・中学校の働き方改革アクションプラン」に基づき、教職員の負担を軽減し、子どもたちと向き合う時間を確保するため、さまざまな取り組みを進めています。

学校閉庁日の設定

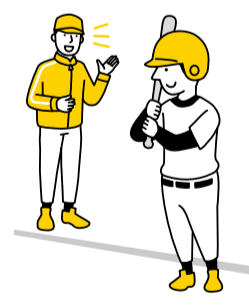
教職員が休養を取りやすい環境を整え、心身の健康を保持できるよう、学校閉庁日を設定しています。該当日は、教職員の休暇取得を促し、原則として教職員は不在となります。現在は、夏季休業期間の8月13日から15日までを学校閉庁日としていますが、2023年度から日程をさらに拡大する検討を進めています。



効果 教職員が健康で心ゆとりを持って、子どもたちと向き合う環境を確保することにつながります。

部活動指導協力者の派遣

部活動の指導を行う教員をサポートする人材を派遣しています。教員と連携しながら、専門的な知識や技能を生かした技術指導を行う部活動指導協力者を全市立中学校13校に派遣しています。



効果 現在56人の協力者を16種類の部活動に派遣。指導にあたる教員の負担軽減につながっています。

保育園でも交流を開始

2022年度からは、一部の保育園においてもオンライン交流を開始。歌やダンスなどを通じて交流をしています。



子どもたちは、毎月、お互いの絵やおもちゃを見せ合ったり、本市の園児は日本の歌を、ニュージーランドの子どもたちはマオリの歌を歌ったり、交流を続けてきました。この日は、本市の園児たちが「みんな一緒に」というタイトルのマオリ語の歌をサプライズで披露。歌のテーマに合わせて、友達と肩を組み、体を揺らしながら歌うと、それを見たニュージーランドの子どもたちが同じように肩を組み、子どもたちが一体となる場面がありました。園児たちは交流を終了するのが名残惜しいのか、最後まで画面に向かって「バイバイ」と手を振るなど、楽しんでいる姿が見られました。子どもたちはお互いを、道を隔てた場所くらいの距離に感じるように感じているようで、身近な友達ができた感覚で交流していました。

保育園児の感想

- ・英語で話す前は緊張したけど、2回目の時に、自分で作った機関車を紹介できたのが嬉しかった。
- ・初めて会う時、英語の自己紹介でちょっと緊張したけど、3回目の時にみんなでマオリの歌を歌ったのが楽しかった。

保育園での交流 園企画政策課 ☎225-2050

交流の様子

パソコン越しに聞こえてくるニュージーランドの子どもたちの声を一生懸命に聴き取ろうとしている姿が見られました。思うように伝えられないときには、キーワードを使ったり、身振り手振りも交えたりしながら、頑張っ て伝えようとしていました。学校の様子を伝えるためにパソコンを動かし、直接カメラ越しに教室や校庭を見せるグループも。ゲームや共通した趣味の話題では盛り上がり、伝えることの難しさと同時に伝わったときの喜びを実感している様子でした。



伝統芸術のウィーピング*を紙を使って紹介

*ニュージーランドに最初に定住したマオリの人々は、ハラケケ(フラックス)の繊維で編んだ網で魚を捕まえていました。やがて特有の技術が磨かれ、芸術の一形態として認識されるようになりました。



Hi, guys!



子どもたちの感想

- ・外国の人と話す感覚がつかめて良かった。
- ・国が違っても、いろんなことを伝えられた。
- ・もっと英語を勉強して会話してみたいと思った。
- ・言葉が通じたときはとても嬉しかった。
- ・自分の国と違う国の人と交流したことで自分の世界が広がった。ちょっと怖かったけど楽しかった。

学校での交流 園教育指導課 ☎225-2660



オンライン交流

オンライン交流は、パソコンの画面を介して、本市とニュージーランドの子どもたちが互いに交流する事業。ニュージーランドの体験留学プロジェクトに参加することが難しい小学生も参加できる事業として開始し、新型コロナウイルス感染症の流行に伴って、中学生の交流も開始しました。2023年度までに全ての市立小・中学校で、オンライン交流を実施することを目標としています。



折り紙を紹介

Nice to meet you!!

交流テーマ

- ・文化や行事の紹介
- ・互いにいろいろな質問をする
質問例：好きな食べ物・スポーツ・色など
- ・本市からソーラン節の披露
- ・ニュージーランドから、国歌やマオリの歌の披露
- ・将来の夢や興味のあることについて伝える

友好交流コラム WE ARE THE WORLD あつぎ国内外のお友達

ニュージーランドについて

面積 27万534平方キロメートル (日本の約4分の3)

人口 約504万人

首都 ウェリントン

言語 英語、マオリ語、手話(2006年以降)

国鳥 キーウイ

出典 外務省及びニュージーランド政府観光局(本ページ)

ニュージーランドの子どもたちは、5歳から小学校に通っています。小学校から高校まで学年数が続くので、Year 1(1年生)からYear 6(6年生)までが小学校、Year 7(7年生)からYear 8(8年生)までが中学校、そしてYear 9(9年生)からYear 13(13年生)までが高校に通っています。学校によっては、1年生から13年生までが通う小中高一貫校や、7年生から13年生までが通う学校もあります。

小学校(Year 1) 5歳から11歳まで
中学校(Year 7) 12歳から13歳まで
高校(Year 9) 14歳から18歳まで

日本と違い、入学式がなく、それぞれ5歳の誕生日を迎えれば、小学校に入学できます。ニュージーランドの義務教育は6歳から16歳までなので、6歳の誕生日を迎えるまでに入学することになっています。



PICKUP 01 中学校の全普通教室に電子黒板を導入

65インチの大画面で、投影した教材にペンで書き込みをしたり、動画を活用したりできるため、従来の黒板より視覚効果の高い授業ができるようになりました。生徒からも「授業が理解しやすくなってモチベーションが上がった」と好評です。教室に常設のため、設置準備が不要なことも教員の負担軽減につながっています。1人1台のGIGAスクール端末と併せ、さらなる効果的な活用を進めます。



PICKUP 02 先生のための研修「寺子屋講座」

教員としての幅広い知識の習得、指導力の向上、新しい教育課題への理解などを旨とする研修事業を実施しています。希望参加型研修として授業のない土曜日や夏休みに開催。2022年度は、授業づくりや、インクルーシブ教育、ヤングケアラー、性教育、パソコン研修など、幅広い全22講座を開催し、授業改善に取り組む教員をサポートしています。

PICKUP 03 相模人形芝居の展示

長谷地区と林地区に伝えられる相模人形芝居は、国指定の重要無形民俗文化財として評価されてきました。2023年は、県内の人形芝居5座の公演会開催が50回目となる記念の年。あつぎ郷土博物館では、初公開の資料を含む関連文化財の展示、人形や三味線に触れる体験コーナーなどを設置し、人形芝居の歴史、価値、見どころなどを分かりやすく紹介しています。 ☎あつぎ郷土博物館 ☎225-2515

教育長コラム いじい

近年、いじめや不登校、教員の多忙化など学校を取り巻く課題がますます複雑化しています。また、地域のつながりの希薄化から地域の教育力の低下も指摘され、それらに対して社会全体で対応することが求められています。そのためには、家庭・地域・学校が連携・協働していく必要があります。その取り組みの一つに「地域学校協働活動」があります。地域学校協働活動は、地域住民、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関などの幅広い参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えながら、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行うさまざまな活動です。教育委員会では、2021年度から公民館を拠点として地域と学校をつなぐパイプ役である「地域学校協働活動推進員(コーディネーター)」の配置を段階的に進めています。推進員は、地域に働き掛け、体験学習の講師を仲介するなどの役割を担っています。25年度の全地区配置に向けて、活動の実践方法や仕組みづくりなどの課題研究を行っています。家庭・地域・学校がそれぞれの枠組みを超えて連携・協働する地域学校協働活動の取り組みを進めていくことで、子どもたちにより豊かな学びを提供してまいります。



佐後 佳親 (さご けいみち)



厚木市立荻野中学校

吉野 全洋先生

「教師とは、生徒と共に成長していく職業だと思います」

先生たちへの

7

Questions

次号掲載の先生に聞きたいこと 一番楽しかった休み時間の思い出は？



厚木市立荻野小学校

柴田 友香先生

「教師をしていて『良かったな』と思うときは、子どもたちの喜び顔や『そうなんだ!』という驚きの顔を見られたときです」

- Q.先生になろうとしたきっかけは何ですか?
A.小・中学校の先生への憧れと、野球部の顧問になりたいという思いで、教員を目指しました。
Q.これまでに経験したアルバイトはどのような仕事ですか?
A.学習塾の講師、高校野球のスコアラーのアルバイトを経験しました。
Q.先生になって、気付いたこと、びっくりしたことは何ですか?
A.先生方の生徒への「思い」の強さです。先生方はとても優しく、情熱的な方ばかりです!

- Q.休日は、どのようなことをして過ごすことが多いですか?
A.お気に入りの本を持って、カフェで本を読んでいます。程よい雑音のおかげで集中することができます。
Q.今一番やりたいことは何ですか?
A.冬なので、地元九州の海の幸をたくさん食べたいです。
Q.小学生時代の一番の思い出はどのようなことですか?
A.修学旅行で、布団の上で、はしゃぎ過ぎて咳が止まらず、病院に行ったことです。当時の担任の先生、すみませんでした!
Q.元気の源は何ですか?
A.生徒と一緒に過ごす時間です。エネルギーをたくさんもらえます。また給食をたくさん食べることです。

- Q.先生になろうとしたきっかけは何ですか?
A.子どもの頃の楽しかったことや新しいことを学んだ時の驚きと感動が忘れられず、それを先生となって子どもたちと共有できたらいいなと思ったからです。
Q.これまでに経験したアルバイトはどのような仕事ですか?
A.お寿司屋さん、ケーキ屋さん、学童クラブでアルバイトを経験しました。
Q.初めて教壇に立った日の心境・思い出を教えてください。
A.緊張してあいさつをした後、たくさん子どもたちが話し掛けてくれました。

- Q.先生とは、一言で表すとどのような職業ですか?
A.「つなぐ」職業です。子どもたちを、これから出会う人や地域、社会、新しい知識、次のステージ、夢に「つなぐ」職業です。
Q.今、頑張っていることは何ですか?
A.分かりやすく、学びたいと思える授業を作ることです。
Q.今一番やりたいことは何ですか?
A.キャンプ用品を買って、キャンプに行きたいです。
Q.元気の源は何ですか?
A.旅行に行くことや心に響く映画を観ること、そして寝ることです。

Recipe for White Fish with Herbs. Includes ingredients list (White fish, salt, soy sauce, mayonnaise, basil, flour, oil), instructions, and a QR code for the recipe.

コンクール受賞者発表

Competition winners list including Fire Safety Poster, Environmental, Animal Welfare, and Science awards. Includes names of winners and their schools.

子どもの相談は ☎ 221-8080 (青少年教育相談センター)
教育委員会定例会を傍聴しませんか 教育委員会の重要な案件を審議し決定する定例会を、原則、毎月第4火曜、14時から開催しています。